

秋田県では八郎湖の水質を改善するために

無代かき栽培を推進しています

八郎湖では、代かき後から移植時に出される排水が大きな汚濁負荷となっていました。そこで、農家の皆さんの協力により排水を減らす浅水代かきや田植前の落水を少なくする落水管理は全域で広がり、水田からの負荷の2割程度が削減されたと考えられます。

しかし、いまだ代かき濁水の排水の影響は大きいため、さらなる負荷削減にむけて、代かき後の排水をなくすことができる無代かき栽培を推進しています。



八郎湖水質保全シンボルキャラクター
せいりゅう
清龍くん

代かきの役割と無代かき栽培での対応策

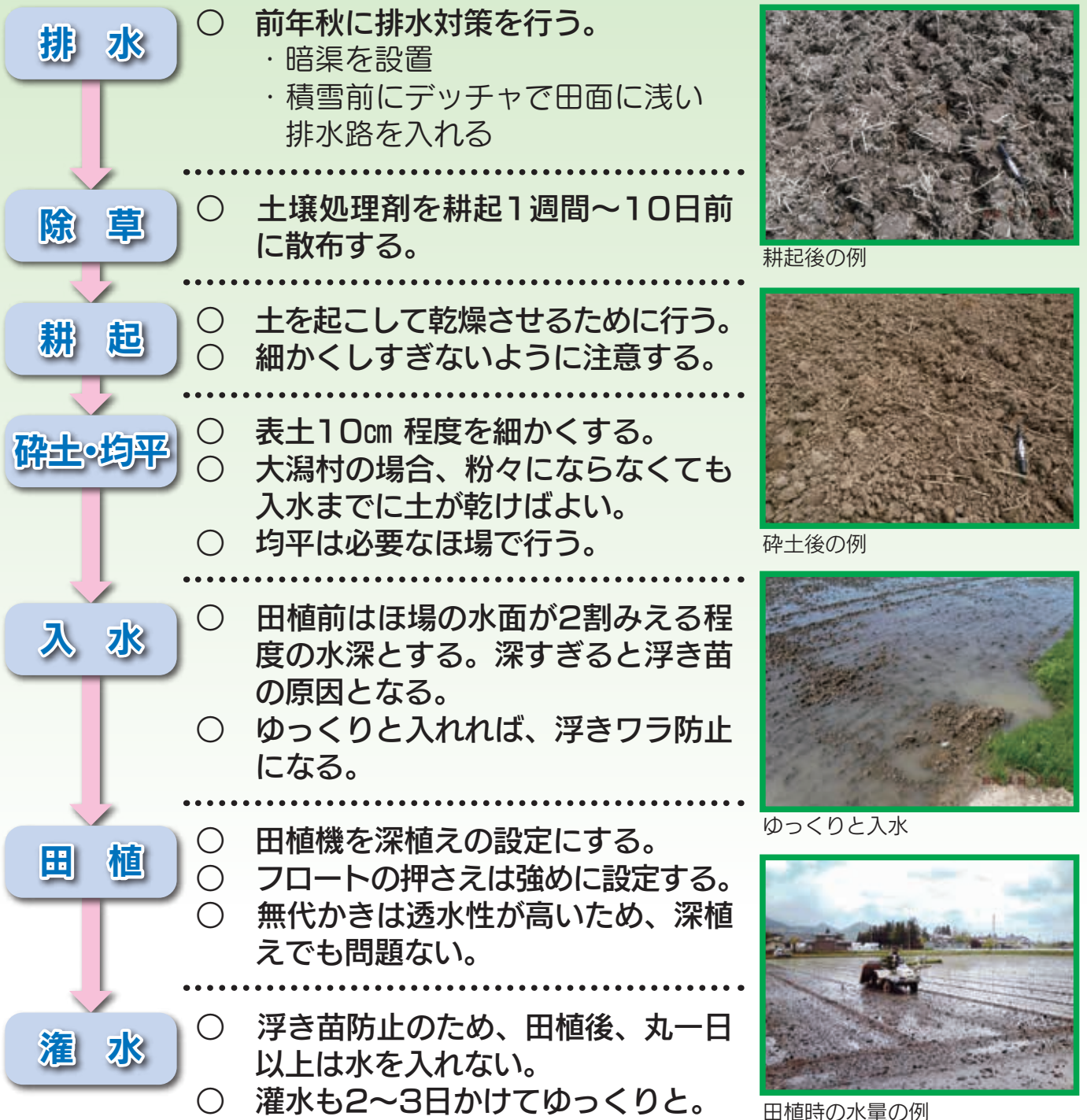
代かきの役割	無代かき栽培の対処内容
漏水防止	<ul style="list-style-type: none">・ 畦塗りを定期的に行うなど、畦畔をしっかり作って漏水を防ぐ <p>注) 代かき栽培時の日減水深が2cm以上のほ場では、無代かきは行わない</p>
除草	<ul style="list-style-type: none">・ 耕起前の土壌処理剤散布・ ほ場の雑草の種類に合わせた除草剤の選択・ 漏水の防止 <p>注) 雑草の多いほ場では、無代かきは適さない</p>
均平	<ul style="list-style-type: none">・ 代かき移植時に田面の露出があるほ場では、レベラーで均平を行う・ もともと均平がとれているほ場であれば、3年前後は均平の必要なし
砕土	<ul style="list-style-type: none">・ ほ場が乾いたらハローで砕土・ 代かき用ハローでも可
苗が定着しやすい土にする	<ul style="list-style-type: none">・ 深植えにする・ 田植当日は水を入れない

代かきのデメリット

- ・ 春作業に大量の水が必要
- ・ 毎年 1t/ha 程度の作土が排水路へ流出している可能性
- ・ 代かきをしすぎると稲の根張りが悪化
- ・ 排水の悪いほ場で代かきを行うと、中干しの乾燥が不十分になる傾向

結果、稲の根張りが悪くなると同時に、機械作業がしづらくなる

無代かき栽培の作業体系とポイント



耕起後の例



碎土後の例



ゆっくりと入水



田植時の水量の例

問合せ先

秋田県生活環境部環境管理課八郎湖環境対策室

018-860-1631

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。